

2023年2月28日

NO. 849号

働き人のいいぶん

【行動する会働き人・連絡先】 日本人民委員会 大阪市西成区天下茶屋東2-9-16
電話・FAX 06-6653-8283 ブログ・<http://hatarakibito.at.webry.info/>

戦争準備を急ぐ岸田政権

全面戦争を想定

自衛隊基地⇒核攻撃に耐えるよう

に「強靱化」 (「きょうじんか」)

わしら国民⇒無防備のまま戦場に

ほったらかし

「しんぶん赤旗日曜版・2月26日号」が一面でスクープ記事を載せている。全国300の自衛隊基地を化学・生物・核兵器による攻撃にも耐えるように整備する。……岸田政権は計画の全貌を国会にも国民にも隠して置きながら、ゼネコンには計画を説明し意見交換していた。

具体的には、「司令部等を地下に埋設」したり、主要施設のHEMP攻撃対策……HEMP攻撃とは高高度(地上30~400キロ)での核爆発によって生じる電磁パルスによって広範囲の電気系統を破壊する攻撃のこと。また化学・生物・核兵器による攻撃にも耐えるように「建築物の構造強化(壁厚の増)」や「地下化」「空気ろ過システム」の導入など。5年間で43兆円の

働き人のいいぶん（2023年2月28日）

防衛費のうち、基地の「強化（きょうじんか）」に4兆円をあてるという。

政府は大幅に増やす防衛費のうち、大半はアメリカ製のミサイルや戦闘機の購入に充てる。戦争になれば当然報復される。その報復に備えて自衛隊基地を強化するという。日本の基地は、自衛隊基地も米軍基地も市街地にあるものがほとんどだ。付近の住民の被害はどうするのか？そのことは何も説明しないまま、計画だけは進めてしまう。住民に説明すれば反対されることがわかっているから、隠して進めるという。日本の民主主義はとつくに終わっている。

日本が戦争の準備をすれば戦争の危険は確実に増す。日本が軍備を増強すれば、それに危険を感じる国は防衛力を高めざるを得なくなる。日本もアメリカもアジアの国々を侵略し、何千万人という人々を虐殺した経歴を持つ。日本は中国、朝鮮はじめアジアの国々を侵略、植民地化した。第二次大戦後はアメリカが朝鮮侵略戦争、ベトナム侵略戦争を引き起こした。しかも日本もアメリカもそのことをほとんど反省していない。

戦争の脅威はどこかほかの国にあるのではない、アメリカや日本こそが戦争の最も危険な脅威である。

岸田政権は国民を犠牲にしてもアメリカや日本の大資本の利益のために戦争を準備している。岸田政権にお退場してもらおうしかない。

(いんば)

中国の和平案を支持する！

ウクライナ危機の政治的解決に関する中国の立場

- | | |
|--------------|----------------------|
| 1. 各国の主権の尊重 | 7. 原子力発電所の安全確保 |
| 2. 冷戦思考の放棄 | 8. 戦略的リスクの低減 |
| 3. 停戦 | 9. 食糧の外国への輸送の保障 |
| 4. 和平交渉の開始 | 10. 一方的制裁の停止 |
| 5. 人道的危機の解消 | 11. 産業・サプライチェーンの安定確保 |
| 6. 民間人や捕虜の保護 | 12. 戦後復興の推進 |

@人民網日本語版

1月24日、中国外交部（外務省）が「ウクライナ危機の政治的解決に関する中国の立場」という声明を発表した。これはロシアとウクライナの双方に受け入れ可能な提案だ。またロシアに対する制裁で物資の不足に苦しむ多くの国にとっても歓迎できるものだ。

(1) 各国の主権の尊重の項では「各国の主権、独立、及び領土的一体性はいずれも適切に保障さ

れるべきだ。」としてロシア軍の侵攻を受けるウクライナに理解を示す一方、

(2) 冷戦思考の放棄では、「地域の安全が軍事ブロックの強化、さらには拡張によって保障されることはない。各国の安全保障上の理にかな

働き人のいいぶん（2023年2月28日）

った利益と懸念は、いずれも重視され、適切に解決されるべきだ。」として、「NATOの東方拡大」を危惧するロシアに配慮している。**(3) 停戦**では、「各国は理性と自制を保ち、火に油を注がず、対立を激化させず、ウクライナ危機の一層の悪化、さらには制御不能化を回避し、ロシアとウクライナが向き合って進み、早急に直接対話を再開し、情勢の緩和を一步一步推し進め、最終的に全面的な停戦を達成することを支持するべきだ。」として、欧米が戦争を煽っていることを批判している。そして**(4) 和平交渉の開始**、では、「対話と交渉はウクライナ危機を解決する唯一の実行可能な道だ。」としている。また、原発への攻撃に反対し、核兵器の使用に反対し、食糧の外国への輸送に国連が重要な役割を果たすことを支持している。

この中国の「和平提案」について、**ロシアのプーチン大統領もウクライナのゼレンスキー大統領も好意的だ。ゼレンスキー大統領は「習近平主席と会談したい」と発言している。**アメリカのバイデンだけは反対している。この和平案で戦争が終結すれば中国が世界のリーダーになると考えているのだろう。この戦争を最も望んでいるのは誰か？この戦争の首謀者は誰か？非常にわかりやすい構図になっている。私は心から中国の「和平提案」を支持する。ウクライナの地に一日も早く平和が訪れることを願う。（ヤマハシ）